



にら作り はじめよう!!

～栽培面積 全国No.1!! あなたも仲間入りしませんか?～

栃木県で「にら」栽培をお勧めする理由

栃木県は...

- 大消費地に近く、鮮度が重要な「にら」の流通に適しています。
- 日光や那須などを源流とする水資源が豊富です。
- 冬期の日照時間の長さが全国有数で、にらの生育に適しています。
- 栃木県内には、約850戸の生産者仲間がいます。産地は、鹿沼市、大田原市、栃木市などで水田地帯を中心に県内全域に分布しており、JA、県などからのサポート体制も整っています。

新規就農希望者の方に「にら」をお勧めする理由

- 少ない農地と施設でも安定した収益が確保できます。
- 1年を通じて収穫ができるため、安定した収入が確保できます。
- 軽量野菜で作業負担度も低いため、シニア世代からでも長期間の栽培が十分に可能です。

新規参入の経営モデル(15aの場合)

新規参入で「にら」栽培を始めた方からのヒヤリングなどをもとに作成した新規参入する際の経営モデルです。標準的な就農条件として以下のモデルを参考にしてみてください。



1 栽培面積など

にら栽培15a(1,500㎡)を夫婦2名でスタート。



2 資金

手持ちの資金は300万円(1年間の生活費など) 青年等就農計画を作り、市町から計画認定を受け、認定新規就農者になる。
ハウス等の施設設備に係る費用約650万円は、青年等就農資金で全額借入れ、資金の返済は2年間の据え置きで、以後10年間で均等返済する。

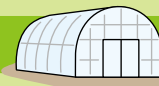


3 栽培技術

栽培技術を学ぶため、1年間就農準備校「とちぎ農業未来塾」及び農家研修に通う。
研修期間中は農業次世代人材投資事業(準備型)により年150万円の資金交付を受ける。
※交付には一定の要件を満たす必要があります。

4 農地

農地は借地。借地料は3万円/10a。
ハウス、育苗用ハウス等の用地として、40aの農地を借りる。借りる農地には井戸と電気がないことが多いため、自己費用で整備する必要がある。



5 住居

農地の近くに借家を借りる。
家賃は生活費の中に含むものとする。



初期投資費用 設備投資と1年目の資材等経費を合わせて約700万円がかかります。

1年目の設備投資費用(減価償却費対象物)

品 名	面積・規格	金額(円)	耐用年数	償却費	備 考
調整室	30㎡	600,000	15	40,000	プレハブ小屋
パイプハウス(育苗ほ)	250㎡	350,000	10	35,000	
パイプハウス(本ぼ、遮光資材含む)	15a	3,200,000	10	320,000	4.5m×50m×6棟
管理機		200,000	7	28,571	中古でも可
動力噴霧機	3ps	400,000	7	57,143	
プレハブ予冷库	1.5坪	488,000	7	69,714	
にら採取機、コンプレッサー	5ps	500,000	7	71,429	中古でも可
シーラー		98,000	7	14,000	中古でも可
軽トラック		500,000	5	100,000	中古
		6,336,000		735,857	

1年目の資材等の経費

項 目	金額(円)	備 考
種苗費	13,600	6dL
肥料費	60,000	基肥、追肥
農薬費	40,000	殺虫剤、殺菌剤、除草剤
小農具費	12,000	収穫鎌、コンテナ
諸材料費	40,000	被覆資材等
賃借料	30,000	農地(30a)、機械類
光熱動力費	95,000	ガソリン代、電気代
出荷資材費	9,750	段ボール、結束テープ、出荷袋
合計	300,350	

※上記、金額等については目安としての内容となっております。

にら新規就農の経営発展イメージ

- ①労働時間 1人2,000時間／年間を目安に1～3年目は家族労働力に対応。4年目以降、雇用労働力が
必要となります。
- ②経営収支 1年目は株の養成期間のため出荷はほぼありません。
2年目以降は単収 5,000kg～ 5,200kg／10a (年間7～8回収穫) で試算しています。

	新たな 栽培面積	栽培面積 (a)					設備投資費用 (減価償却費対象物)
		合計	1年株	2年株	夏にら	ハウス棟数	
1年目	15a	15a	15a	0	0	6	6,336,000
2年目	20a	35a	20a	15a	0	14	5,500,000
3年目	10a	45a	25a	20a	0	18	4,730,000
4年目	15a	60a	30a	25a	(5a)	24	2,700,000
5年目	10a	70a	30a	30a	5a (5a)	28	1,700,000

	販売額 (A)	資材等の経費 (B)	減価償却費 (C)	所得 (販売額－経費－償却費) A－B－C
1年目	210,000	300,350	735,859	－ 826,209
2年目	4,245,000	651,950	1,341,571	2,251,479
3年目	5,720,000	816,250	2,017,286	2,886,464
4年目	7,250,000	1,839,000	2,287,286	3,123,714
5年目	9,715,000	2,211,850	2,457,286	5,045,864

	労働時間	
	家族のみ	雇用
1年目	1,500	0
2年目	4,000	0
3年目	4,200	0
4年目	4,000	1,000
5年目	4,200	1,200

※設備投資は5年目で終了。
 ※夏にら専用株は養成1年目を()で、収穫面積を実数で記載。
 ※ハウスは1棟2.5a。
 ※2年株収穫回数は7～8回を目安。
 ※雇用労賃は資材等の経費に含む。
 ※販売額のにら販売単価は400～700円/kg(目安)。
 (年間での相場変動を鑑み算出)

にら栽培面積の拡大イメージ

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
栽培面積 15a	栽培面積 35a	栽培面積 45a	栽培面積 60a	栽培面積 70a
栽培ハウス 15a 6棟	栽培ハウス 15a 6棟	栽培ハウス 15a 6棟	栽培ハウス 15a 6棟	栽培ハウス 15a 6棟
育苗ハウス 2.5a 1棟	育苗ハウス 2.5a 1棟	育苗ハウス 2.5a 1棟	育苗ハウス 2.5a 1棟	育苗ハウス 2.5a 1棟
	栽培ハウス 20a 8棟	栽培ハウス 20a 8棟	栽培ハウス 20a 8棟	栽培ハウス 20a 8棟
		栽培ハウス 10a 4棟	栽培ハウス 10a 4棟	栽培ハウス 10a 4棟
			栽培ハウス 10a 4棟	栽培ハウス 10a 4棟
			栽培ハウス(夏にら) 5a 2棟	栽培ハウス(夏にら) 5a 2棟
				栽培ハウス 5a 2棟
				栽培ハウス(夏にら) 5a 2棟

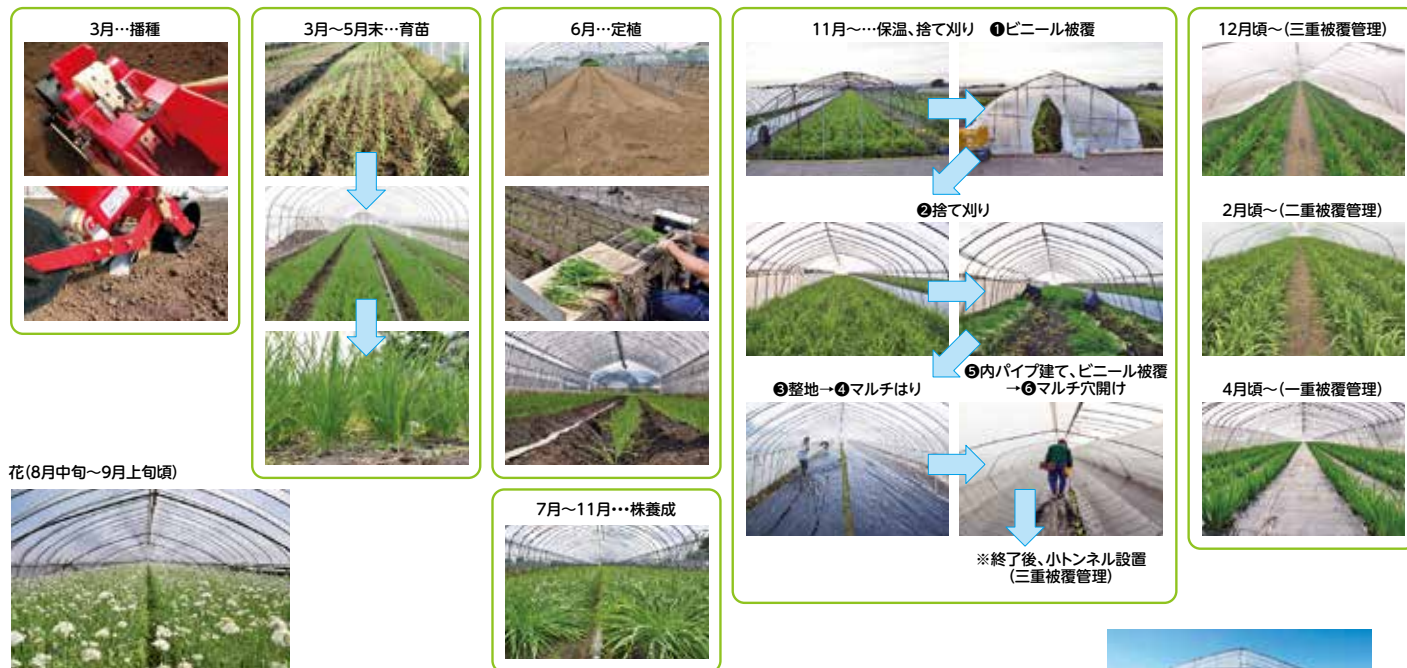
その年に新規に建てる施設

「にら」の主な栽培体系

2年1作体系

播 播種 定 定植 捨 捨て刈り 収 収穫期

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
周年どり	1年株	播	育苗		定		株養成			捨	収	収	
	2年株	収	収	収	収		株養成	捨	収	収			
夏にら	1年目(養成)	播	育苗		定		株養成						
	2年目(収穫)		収		株養成	捨	収	収	収				



花(8月中旬～9月上旬頃)

栃木県でのにら栽培の多くは、1年目の冬から、2年目の秋にかけて収穫する「2年1作体系」ですが、近年では、いちごハウスの様なウォーターカーテンや暖房機を利用する「1年1作連続収穫栽培」が進んでいます。

就農までの進め方(フローチャート)

にらづくりは、十分な準備が必要となりますが、研修制度なども充実しており、学びながらノウハウを習得できます。就農するまでに想定される課題等を把握して解決していきましょう。

就農相談

就農相談会(新規就農相談会inとちぎ、新・農業人フェアなど)で相談。
にらの現状把握と、就農のための予備知識の習得。



にら栽培の情報収集

セミナー及びにら農家への視察研修。
にら農家での栽培体験や、にら経営についての情報収集。

にら農家での研修

にら先進農家での研修(1年以上)
にらの栽培技術の習得。
※この期間で地域の信用を得て、農地や空き施設などの紹介を得られるケースが多い。



就農(独立自営就農)

詳しくは、お近くのJAまたは、農業振興事務所までお問い合わせ下さい。

製作：JA全農とちぎ
営農販売企画部 生産振興課
TEL:028-616-8811
協力：栃木県農政部・農業振興事務所